



令和8年度 鳥栖・ツァイツ子ども交流事業 参加者募集



令和6年度受入れ時鳥栖市にて



令和7年度派遣時ツァイツ市にて

鳥栖市は、平成12年(2000年)にフッペルのピアノの故郷であるドイツ連邦共和国ザクセン-アンハルト州ツァイツ市と、平和と音楽を基調とした交流をスタートさせました。以来、互いに訪問しあうなど心と心の交流を深め、平成24年(2012年)に友好交流都市協定を締結しました。

両市の交流の一環として、平成16年(2004年)からは、鳥栖市とツァイツ市が相互に学生を派遣・受入れを行う「鳥栖・ツァイツ子ども交流事業」が始まり、ホームステイを通し「異文化を学ぶ」、「日本文化を伝える」といった“おかげさま、お互いさま”交流を行っています。

今回で9回目の受入れとなる、鳥栖・ツァイツ子ども交流事業に参加してツァイツ市の学生のホストファミリーとなり、来年の夏は1,000年以上の歴史と文化をもつ街・ツァイツを訪問して異文化体験をしませんか！

主催 鳥栖市・鳥栖市教育委員会

※この事業は、令和8年度の予算の成立が前提となります。

【お問い合わせ・お申し込み】
鳥栖市 市民環境部 市民協働課
〒841-8511
鳥栖市宿町 1118 番地
電話 (0942)85-3508
FAX (0942)83-3310
Eメール kyoudou@city.tosu.lg.jp

募集要項

1. 目的 この事業は、令和8年度にホストファミリーとしてツアイツ市学生をホームステイで受け入れ、令和9年度にはツアイツ市を訪問してツアイツ市の様々な交流プログラムに参加することを通して、相互に異国の自然や歴史、文化、社会、人々との交流などを体験する交流事業です。鳥栖市のこどもたちが、このような体験によって、自分自身や鳥栖市という地域を客観的に見つめ直し、これからの国際社会の一員として、国際的視野に立って考え行動できる人に育つことを願いこの事業を実施します。
2. 募集条件 次の①～⑤のすべてに該当する人
- ①鳥栖市内在住の小学6年生、中学生、高校1・2年生（令和8年4月1日現在）で、参加について保護者の同意及び学校長の承諾を受けられる人
 - ②心身共に健康で団体行動・団体生活に十分適応でき、主体性をもって国際交流に取り組む意欲がある人
 - ③過去に市費による海外派遣を経験していない人
 - ④オリエンテーション・事前研修に必ず出席できる人（※保護者同伴、オリエンテーション1回、事前研修3回程度）
 - ⑤今年度ホストファミリーとしてツアイツ市学生（1人）の受入れ（ホームステイ）ができて、来年度にツアイツ市を訪問（夏季休業期間中14日間程度）することについて、家族の理解と承諾が得られる人
3. 募集人員 10人
4. 受入期間 2026年7月11日（土）～7月24日（金）（14日間）
5. 応募方法 作文及び面接によって決定します。
*選考会は4月26日（日）に開催予定。詳細は別途通知します。
6. 参加費用 令和8年度受入れ
鳥栖市の団員の参加費用の負担はありませんが、以下のことを無償で提供していただきます。
- ①宿泊先・食事（平日の朝・晩、土日祝日）の提供。
 - ②平日の朝・夕の市内の集合・解散場所への送迎（主に市役所）。
 - ③土日祝日はホストファミリーの企画で過ごします。
- *令和8年7月23日夕方に予定している送別会にも参加していただきます。
- 令和9年度派遣 ※参考情報
佐賀県の海外研修費用助成制度有（予定・県内学校在籍者）
旅費から助成金を差し引いた額。
*別途、パスポート取得費用、海外旅行保険、空港への送迎等の自己負担が必要です。ホームステイ費用は無料となります（ツアイツ市学生の家庭に滞在）。
7. 応募方法 参加申込書と作文を市民協働課へ郵送または窓口に提出してください。
*参加申込書等は、市民協働課、鳥栖市内小中学校・高校に備え付けています。
また、鳥栖市ホームページからもダウンロードできます。
8. 募集期間 2026年4月1日（水）～2026年4月15日（水）まで（必着）

3/11～
公開



令和8年度鳥栖・ツアイツ子ども交流事業 申込から受入れまでのスケジュール

区分	日時（場所）	研修内容等
募集期間	4月1日（水） ～4月15日（水）	市民協働課へ申込書と作文を提出 （郵送又は持参） *申込書に写真を貼付してください。
選考会	4月26日（日） 面接 *面接及び申込み時の 作文による選考	市役所会議室にて行います。 *時間等の詳細は別途通知します
オリエンテーション （保護者同伴）	5月23日（土）または 5月24日（日） 市役所 会議室	①鳥栖・ツアイツ子ども交流の事業概要 ②ホームステイ期間中の主な予定 ③ホストファミリーとしての心得 ④事前研修（3回）の開催について
事前研修 （保護者同伴）	①6月6日（土）または 6月7日（日） ②6月20日（土）または 6月21日（日） ③7月4日（土）または 7月5日（日） （全3回） 市役所 会議室	・ドイツ文化 ・ドイツ語会話 ・ツアイツ市学生への手紙（英語版）
ツアイツ市学生の 受入れ	7月11日（土） ～7月24日（金）	ツアイツ⇒福岡空港⇒鳥栖（ホームステイ） 鳥栖⇒福岡空港⇒ツアイツ

*日程や内容等は変更になる場合があります。

令和6・7年度(2024・2025年度)参加者の体験や感想(抜粋)

令和6年度受入れホストファミリーからの感想

受け入れてみて、交通ルールや時間を守るという日本人との共通点や生活習慣の違い（湯舟に毎日入らない）等に気付きました。

今回異文化の人との交流ができて、そのような機会を与えてくれたことに大変感謝しております。

平日の送迎時間は働いていても可能な時間なので助かりました。週末はまつり鳥栖やサッカー観戦に喜んで参加させていただきました。

受け入れた学生がベジタリアンなので食事の対応に少し悩みました。早めに準備できると良かったです。

事前にお風呂のことや、エアコンのスイッチのオン・オフのことなど、教えてもらっていたので助かりました。

今回、他のホストファミリーの方と一緒に週末を過ごさせていただきました。ツアイツの子同士で仲の良い同土があるようで、そのファミリーと連絡をとって、一緒に出かけてより楽しく過ごせたと思ったので、事前にそうしてもいいと伝えてあると話を持ちかけやすいのでは、と思いました。

令和7年度派遣された鳥栖市学生からの感想

2週間のドイツでの生活は夢のような生活だったことに加え、多くの学びがありました。昨年受け入れた学生とその家族に会うことを一番楽しみにして日本を出発しロングフライトを終え、無事に会うことができました。しかし、久しぶりの再会だったこともあり緊張していました。初日は緊張からうまく英語を話せなかったけれども、ホストファミリーが私の話に親切に耳を傾け、理解しようと努めてくれたことで伝えたいことを徐々に英語で伝えられるようになりました。

反省点として、自分の英語力の無さという点があると思います。私は中学2年生の時点で研修に参加したので、日常会話ができるほどの英語学習が十分に足りておらず、話せることができるものは最大限話せましたが、翻訳機を使って会話をしてしまう場面もありました。そのため、私はこの研修を通して英語学習や第二外国語への意欲がとても高まったと思います。

ドイツの生活では、日本とは異なる文化や習慣を数多く体験しました。朝晩の寒暖差が大きく服装選びに悩んだこと、リサイクルをするためにペットボトルはゴミ箱に捨てないこと、蜂は殺してはいけないことなど、日常の小さな違いが新鮮でした。挨拶の仕方や学校での発表の仕方なども、日本では当たり前と思っていたことが違って興味深かったです。

*市ホームページ (<https://www.city.tosu.lg.jp>) に過去の事業報告書を掲載していますのでご覧ください





令和6・7年度

(令和6年度受入れ)



ホストファミリー向け事前研修（ドイツ語）



活動風景

(令和7年度派遣)



派遣学生向け事前研修（ドイツ語）



日本文化体験



職業訓練体験



高校部活見学



大学見学



送別会



送別会